

# 月刊 ゆがの通信

2011年9月号

発行：ゆがの薬局

## 夏の疲れを早めに回復して 元気に秋を迎えましょう

### 消化器の不調が夏バテに

五行学説に基づく漢方の考え方には春夏秋冬の四季の他に「長夏（ちようか）」という季節があります。日本では八月下旬から九月中旬にあたる夏と秋の間の季節です。この時期に注意したいのは消化器系の不調です。湿気の多い日本の夏は体内に「湿（余分な水分や汚れ）」が溜まりやすく、消化器の機能も低下しがちになります。また、暑さから冷たい物を摂りすぎて消化器を傷つけてしまうことも少なくありません。結果としておなかの不調や食欲不振などが続き、夏も後半に入るとすっか



イスクラ「勝湿顆粒」

りバテてしまうのです。当店では「勝湿顆粒（しようしつかりゆう）」をおすすめしています。この漢方は

速効性がありますので夏バテの解消に有効です。

- ・イスクラ産業「勝湿顆粒」  
九包入り（三日分） 一、四一七円  
四五包入り（二五日分） 四、九五〇円  
九〇包入り（三〇日分） 九、一七七円  
一日三包を目安に服用してください。

### 精神的ストレスも胃腸の大敵

胃腸はまた季節に関わりなく精神的なストレスの影響が一番受けやすい内臓でもあります。神経が緊張すると血管は収縮し胃袋の周りの血液循環は悪くなります。ストレスによって胃腸はある時は痙攣し、ある時は弛緩し、下痢と便秘を繰り返す排便異常を引き起こします。ストレスが強まると脳が多くの血液を必要とするため胃袋の周りが貧血状態になります。そのために胃袋の自己防御力は衰えてびらんが起り、胃・十二指腸潰瘍へと進むことにもなります。それなら、胃の周りの血液循環を良くすればストレスにも簡単に負けなくなるはず。漢方では血液を貯蔵し、流量を調節し、消化機能を助ける内臓は肝臓だと考えています。ですから肝臓を強くすることがストレスに強くなる方法となります。肝臓の機能を強化すると血液循環が良くなり、

血液の汚れを早く取り除き、脳の代謝を良くします。すると思考力が活発になり様々なアイデアも巡らせることができるのでストレスが減るといふ具合になります。

胃腸の働きは肝臓によって守られているというのが漢方の知恵です。当店では「霊田七（れいでんしち）」をおすすめしています。ストレスに強い弱いかの差は肝臓が強い弱いかの差に他なりません。

- ・イスクラ産業「霊田七」  
五〇〇粒入り（二八日分） 一〇、二九〇円  
一回六粒を一日三回、食前にお飲みください。



夏から長夏にかけては一年を通じて最も体力を消耗しやすい時期です。まず消化器の働きを整えてしっかりと栄養を取り秋に向けて十分な体力をつけることが大切です。

「勝湿顆粒」「霊田七」についてのご相談は店頭だけでなく、お電話でも受け付けております



「健康的にダイエット！」なら「マイクロダイエット」をお試ください

# ゆがの薬局

マイクロダイエット正規取扱店

賀茂郡河津町浜149-4 TEL0558-34-0150  
当店ウェブサイト <http://www.yugano-ph.co.jp>